

北沢だより

温故
創新

義務教育学校 八女市立
上陽北沢学園
JOYO-HOKUZAI compulsory education school

第12号 令和8年1月8日発行

文責 校長 武藤 健

令和7年度重点目標「目標達成に向かって粘り強く取り組む子供の育成」

高鳴りを胸に、次へと繋(たすき)をつなぐ一年に ~令和8年の始まり~

新しい年を迎えました。保護者の皆様・地域の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。本年も、本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

さて、お正月、箱根駅伝を目にされた方も多いのではないでしょうか。その合間に流れる会社のコマーシャルのキャッチコピーで、私が心に深く残った言葉があります。

「鼓動が強くなってきたね。それは苦しさじゃなくて、高鳴りだよな。

だってこの場所をずっと夢みてきたんだから…」

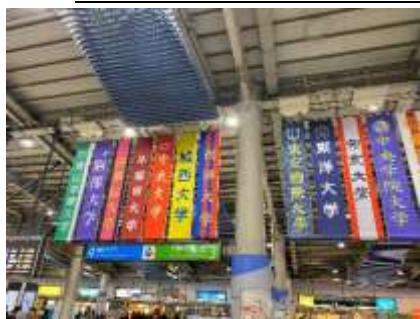
新しいことに挑戦しようとするとき、人は不安や緊張を感じ、胸の鼓動が速くなることがあります。しかし、それは決して後ろ向きな気持ちだけを表すものではありません。目標に向かって歩んできたからこそ、たどり着こうとしている場所があるからこそ生まれる「高鳴り」なのだと、この言葉は教えてくれているように思います。

同じく印象的だったのが、「**繋(たすき)**は、待っている。」という言葉です。繋は、特別な人だけを待っているのではありません。速さや完璧さを求めているのでもありません。今の自分が、今の場所で、一步を踏み出すことを、静かに待っているのです。

本校は、義務教育学校として、1年生から9年生までの9年間を一つの学びの道のりとして大切にしてきました。日々の授業、行事、仲間との関わりの中で積み重ねてきた努力や挑戦は、確かに子供たち一人ひとりの中に息づいています。今、胸の鼓動が強くなっている子供たちもいることでしょう。それは、困難に押しつぶされそうになっているからではありません。自分なりの夢や目標に向かい、ここまで歩んできた証なのです。

特に9年生にとっては、これまでの9年間の学びを胸に、次のステージへと進む大切な時期を迎えています。不安や緊張も含めて、そのすべてが「高鳴り」であり、自分の歩みを信じる力へとつながっていくことを願っています。

本年も、子供たち一人ひとりが、自らの鼓動に耳を澄まし、その高鳴りを力に変えながら、次へと繋をつないでいく一年となるよう、教職員一同、心を一つにして教育活動に取り組んでまいります。※本日の全校集会でも、児童生徒に同様の話をしています。



写真：昨年末の東京品川駅構内の垂れ幕

歩みを受け継ぎ、未来へ挑む ~新年に礼節の意義を改めて考える~

昨年末、日本武道館を訪れる機会がありました。正面に示された「武道」の文字や館内に掲げられた国旗からは、勝敗や結果以前に、人としての在り方や心構えを重んじてきた日本の精神文化が、師走の寒さの中で、静かに伝わってくるように感じられました。

武道において大切にされてきた「礼儀」は、単なる形式的な作法ではありません。**相手を敬い、場を整え、自らの心を正すことによって、学びや勝負に向かう姿勢をつくるものです。そこには、他者と向き合う前に、まず自分自身を律するという考え方**が息づいています。

本校では、礼節を教育の重要な柱の一つと位置付け、礼節の授業として剣道と茶道を取り入れています。剣道では、技を学ぶ前に、立礼や座礼、姿勢、間合いなどを通して、相手を尊重する心と集中力を養います。茶道では、一つひとつの所作に意味があることを学び、相手を思いやる心や、場を大切にする態度を身に付けていきます。

これらの学びは、剣道場や和室（茶室）の中だけにとどまるものではありません。礼節は、日常の学校生活の中でこそ生かされるものです。例えば、

- 進んであいさつをし、相手の目を見て言葉を交わすこと
- 話す人の方に体を向け、最後まで話を聞くこと
- 使った場所や道具を整え、次に使う人のことを考えること　など

こうした一つひとつの行動は小さなことのように見えますが、学びに向かう姿勢を整え、仲間との信頼関係を築き、困難な課題に挑戦していくための確かな土台となります。

本校は、義務教育学校として、9年間の学びの中で、礼節を段階的に育んできました。初等科で身に付けた基本的な態度や所作は、中等科・高等科での主体的な学びや協働へとつながり、最終的には、自らを律し、他者を尊重しながら社会と向き合う力へと発展していきます。

剣道や茶道で培った礼節を、日々の学校生活や学習、そしてこれからの進路選択の場面に生かしていくことが、子供たち一人ひとりの確かな成長につながると考えています。これまでの歩みを受け継ぎながら、礼節を礎として、未来へ向かって挑戦し続ける学校でありたいと思います。



♥ 心と体を大切にすることが、力を出すことにつながります ♥

これから寒い日が続き、インフルエンザなどの病気が流行しやすい時期になりました。元気に学校生活を送るためにには、体の健康だけでなく、心の健康も大切にすることが必要です。

十分な睡眠をとること、しっかり食べること、手洗い・うがいをすること、教室の空気を入れかえることは、体を守るための大変な習慣です。同じように、心を休ませることも大切です。

「ちょっと疲れたな」「なんだか不安だな」と感じたときには、無理をせず、友だちや家族、周りの人々に話してみてください。話することで、心が少し軽くなることがあります。

特に、9年生のみなさんは、入試を控えています。深呼吸をしたり、いつも通りの生活リズムを大切にしたりしながら、自分の心と体を整えてください。これまで積み重ねてきた努力は、必ず皆さんを支えてくれます。困ったときは、一人でかかえこまず、いつでも相談してください。

